

BACKNUMBER

https://www.kaiho.mlit.go.jp/07kanku/gyoumu/kyunan/marine_anzen_report/

船の管理を徹底しましょう！！



河川上流に係留していたプレジャーボートの状況を所有者が十分確認していなかったため、強風により係留索が切れ、係留地から沖に流出した。



夜間に漂流する船舶



流出した手漕ぎボート

手漕ぎボートで沖の防波堤に渡り、ボートをロープで係留して釣りをしていたところ、風浪によりロープが切断して流出した。



～船の安全はあなたにかかっています！～

排水口(スカッパー)に落ち葉等のゴミが詰まり雨水が溜まって沈没、船尾管(スタンチューブ)からの水漏れが多くなり沈没、係留索が切断し無人漂流する等の事例が発生しています。

これから梅雨や台風のシーズンとなりますので、排水口の点検、開口部の閉鎖状態やビルジ量の確認、係留状態の定期的確認を行いましょよう。

また、雨や風が強くなってからの作業は危険ですので、早めの作業を実施し、必要に応じて陸揚げ保管を行ってください。

なお、雨天時の航行は、視界が悪くなるとともに大雨に伴う流木等の漂流物が発生する場合がありますので、見張りを厳重にし、漂流物に注意してください。

ミニボートの事故も目立ちます！！

ミニボートは免許がなくても乗れることから、手軽に使用して釣りを楽しむことができるように思われがちですが海のルールを把握しておくことや出航前に気象海象情報の確認や万が一に備えた準備をしておく必要があります。

ミニボートの安全運航のために特に以下の点について注意しましょう。

海のルールを守ろう！

ミニボートは免許不要で乗れますが、海上では法で定められた交通ルールを守り、安全運航に努めましょう。また、できる限り安全講習会等を受講した上で安全に楽しみましょう。



帰ることが困難となるおそれ！

ミニボートは、風や波の影響を受けやすく、荒天時は自力で航行できなくなることがあります。出航前には必ず最新の気象海象情報を確認しましょう。また、ガス欠や機関故障に備えてオールを積んでおくとともに、自力で漕いで帰ってこられる範囲で活動しましょう。



ミニボートは気付かれにくい

認識旗などで周りに存在を周知し、夜間の航行は控えましょう。

※ミニボートであっても日没から日出及び視界制限状態において法律で定められた灯火をつけなければなりません。



船内ではバランスに注意！

船内で急に立ち上がったたり、身を乗り出したり、人や荷物の乗せすぎは、転覆や浸水のおそれがあります。十分に注意しましょう。



※詳しくはHP「ウォーターセーフティガイドのミニボートに関する情報」(右の二次元コードのリンク先)から確認することができます。



～海の安全情報から気象情報を入手できます～

灯台などで観測した気象・海象の現況、海上工事の状況などの「海の安全情報」をインターネットから提供しています。

HPへは海の安全情報で検索！

海の安全情報

検索

緊急情報配信サービス (電子メール配信サービス)



<https://www7.kaiho.milt.go.jp/micsmail/reg/touroku.html>

新規登録・登録変更・登録解除は、上記のURL、二次元コードの案内から、指定のメールアドレスへ空メールを送信し、返信される案内メールに沿って行ってください。

※海の安全情報の緊急情報配信サービスに登録すると「灯台で観測したリアルタイムな気象情報」「竜巻目撃情報・突風に関する緊急情報」「航行に支障をきたす流木などの漂流物情報」などの情報を入手することが出来ます。(登録は無料ですが、データ通信料は発生します。)